

3つの観点が関連づけられていない場合

たくさんパスをする！！



ボール操作

キャッチ、パス、
シュート

動き方

ボールを持たない
時の動き

役割分担

一人一人がチームのために
貢献できること



3 観点が関連づけられていない場合



どのような学習過程で教師はどんな支援をするのか

学習課題を見いだし、解決しようとするために・・・

個人・チーム・教師が

「

」

を把握して関わり合う

このような学習状況にある子供たちに・・・



どうしたら、パスをしやすくなるかな。

ゴール操作

キャッチ、キック、パス、

動き方

ボールを持たない
時の動き

役割分担

一人一人がチームのために
貢献できること

たくさんパスをしたい

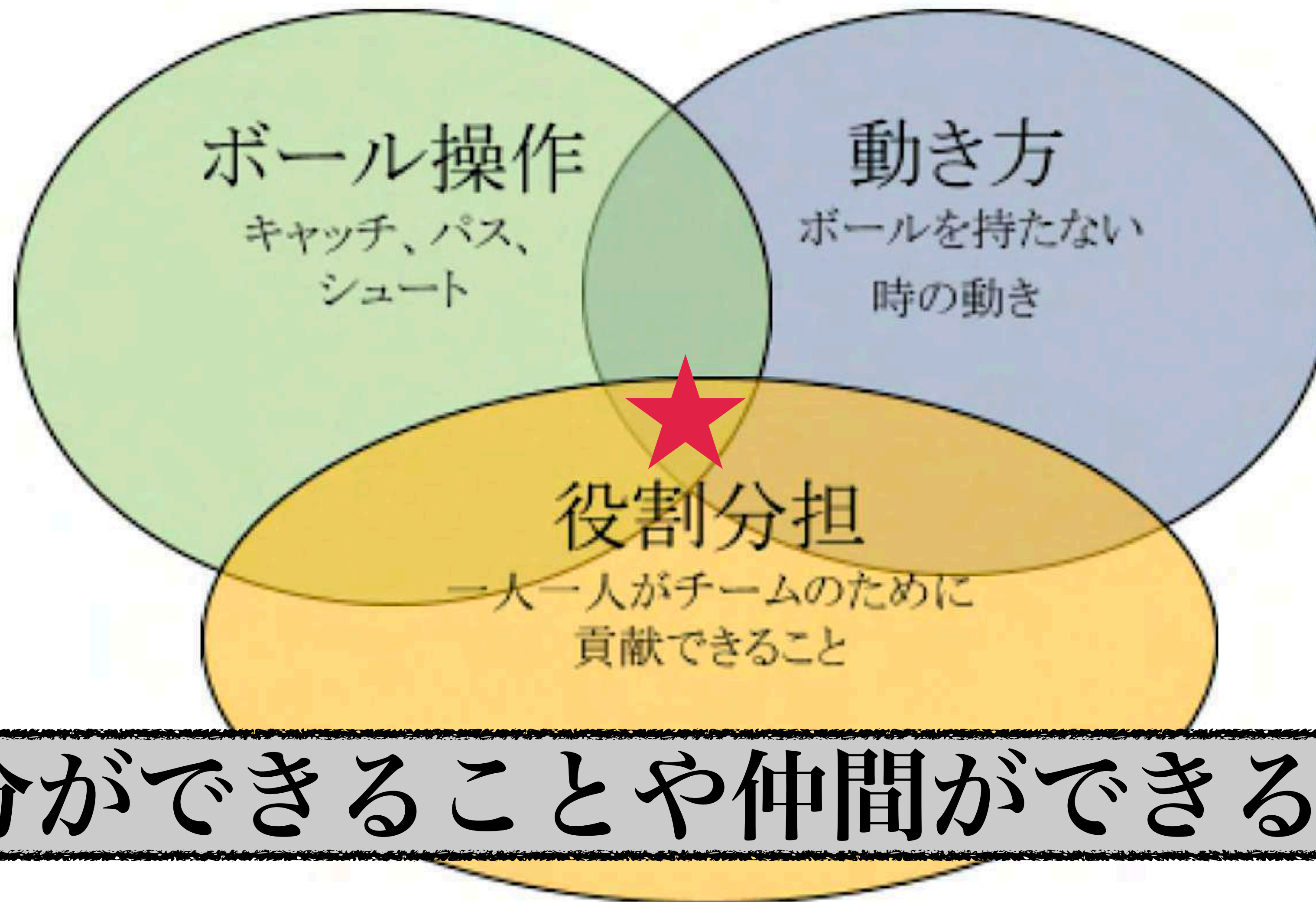
空いているところで
パスをもらう

3 観点が関連づけられている



【チームの作戦】 パスをはやく通す

3つの観点が関連付けられている



自分ができることや仲間ができたこと

どのような学習過程で教師はどんな支援をするのか

3人中2人が個人のボール操作に課題をもっている。



それぞれキャッチやパスはできるが、シュートまで繋げることができていない。



ポジションや役割分担を決め、攻めることはできるが、効果的な動き方に気付いていない。



様々なチームの状況

どのような学習過程で教師はどんな支援をするのか

チームの状況	教師のかかわり	三観点を基にした個人の学習課題のイメージ図
<p>一人一人がボールを運ぶために動こうとすることはできるが、連携したプレイが少ない。</p>	<p>連携に気付かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的な動きを基に連携に気付かせる →個人と個人を繋ぎ、チームとしてどのように攻めるか考えられるようにする。 ○振り返り時の言葉かけ →「作戦を成功させるためには、3人はどのようにプレイしたらいいのかな？」 	
<p>効果的な動きを基に作戦を選び、取り組もうとしているが、個人の特徴に気付いていない。</p> 	<p>個人の特徴に気付かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まずは自分のできることに気付かせる。 →「A君の得意なプレイは何かな？チームで話し合ってみよう。」 →「B君は相手のいない所を狙ってシュートできていたね。」 ○ICT機器の活用 →教師が録画したゲームの様子を見せ、個人の特徴に気付かせる。 	

指導案の
学習資料

どのような学習過程で教師はどんな支援をするのか

「課題把握のための記録カード」

チームのプレイを数値化して
チームの特徴を知る

カウントカード		月 日()	チーム		
ゲーム1	対	チーム	勝	負	
	1	2	3	4	計
パス					
シュート					
奪回					

ゲーム2		月 日()	チーム		
ゲーム1	対	チーム	勝	負	
	1	2	3	4	計
パス					
シュート					
奪回					

ゲーム3		月 日()	チーム		
ゲーム1	対	チーム	勝	負	
	1	2	3	4	計
パス					
シュート					
奪回					

※注：結果は自分だけの記録に、このゲームの結果を記入！

第2時から使用

効果的な動き方への
気づきとなる記録

マップカード		月 日()	チーム	
ゲーム1	対	チーム	勝	負
前半				
ポストプレーヤー：_____				
シューター：_____				
後半				
ポストプレーヤー：_____				
シューター：_____				

※注：気づいたこと・考えたことメモ（作戦タイムで話したことを忘れないうちにメモしよう！）

必要に応じて
第3時から使用

→ 継続してカウントカードを使うことも可

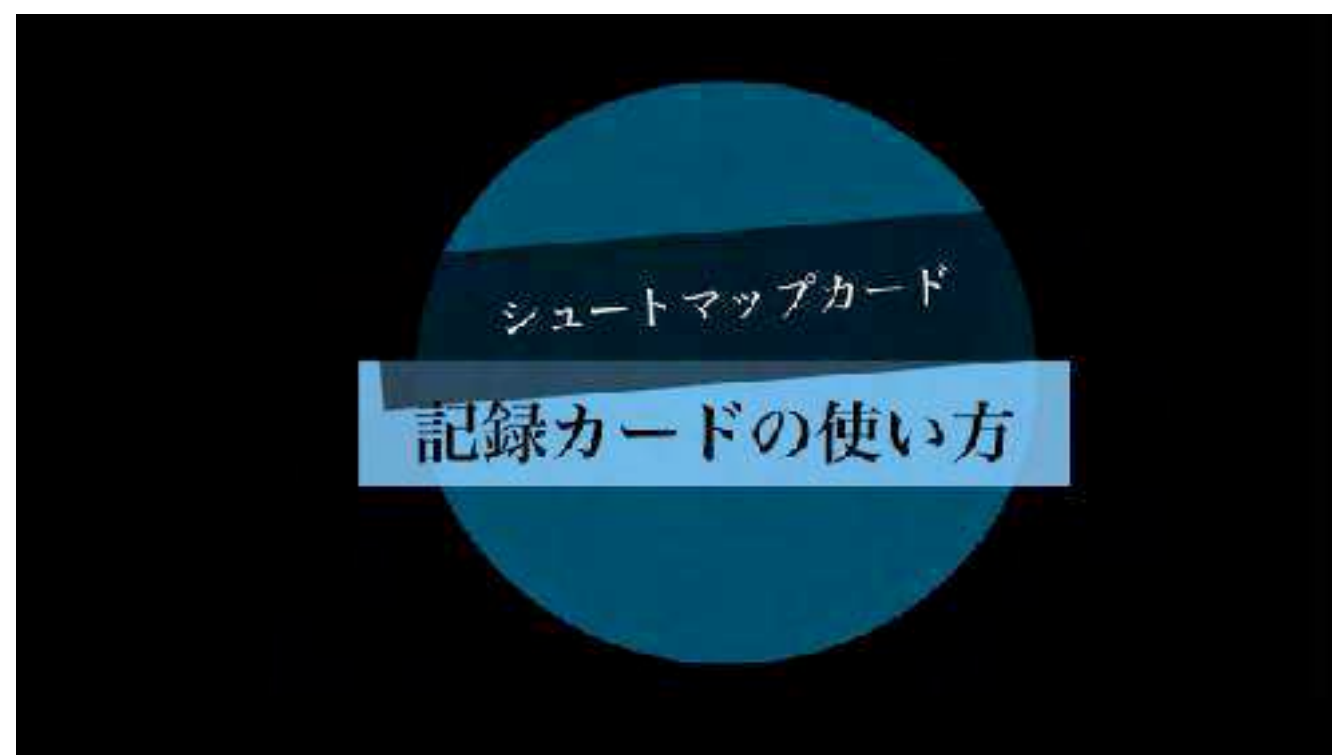
必要に応じて

シュートマップカードを使うことも可

どのような学習過程で教師はどんな支援をするのか

「ICT機器の活用」

ルール理解やカードの使い方を
動画で確認をする



授業内外の時間に動画で
自分やチームの動きを確認する

